

2021年10月27日

## 「中部ミニフォーラム2021」での発表論文が 優秀論文に選出されました

10月22日（金）、一般社団法人 中部地質調査業協会主催（後援：公益社団法人地盤工学会中部支部）の「中部ミニフォーラム2021」が開催され、当社中部支社の齊藤倫久が「横坑内ボーリング作業の安全管理」と題して論文発表しました。

本論文内の横坑は、ダム建設時にコンクリート用骨材を採取する原石山の地質観察用に掘削された幅1.5m、高さ2.0m程度の狭隘な素掘横坑です。横坑内での水平ボーリング作業は、既設ダムの嵩上げ事業で使用するコンクリート骨材の採取に先立ち、横坑よりさらに内部の原石山の地質状況を把握する目的で実施したものです。

論文発表では、横坑内でのボーリング作業における安全管理上の課題を抽出したうえで、安全確保のための仮設備（支保工など）の設置や、作業環境の整備（酸欠防止、照度確保など）に関するプロセスや留意点などについて、写真や図表などを用いて定量的かつ効果的に説明を行い、発表の最後には、ハード面（仮設備など）とソフト面（日々の点検活動など）の対策を組み合わせた最適な安全管理により、無事故で現場作業を完了したことを報告致しました。

本論文は、主催者および聴講者より大きな関心が寄せられるとともに、発表者のプレゼン能力にも高い評価をいただき、優秀論文に選出されました。

今後も当社は、学会・協会活動を通じた技術普及の推進により、ステークホルダーの皆様へ、より社会価値の高い技術サービスをご提供してまいります。

以上

※優秀論文は、中部地質調査業協会の機関誌「土と岩」に掲載される予定です。

機関誌「土と岩」WEBサイト：<https://www.chubu-geo.org/publish/index.html>



論文発表状況

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング  
TEL:03-5246-4150  
URL:<https://www.atk-eng.jp/>  
経営管理本部 深澤、吉田